

愛称通りを歩く ①①

牡丹町通り

清澄通り(牡丹1)〜平久橋(牡丹3)



牡丹町の町名は江戸時代に旧徳島藩・松平阿波守の別邸があり、

その屋敷内や付近に牡丹を栽培する家が多いところから牡丹町という町名がついたといわれています。下町人情の息づくこの町のメイ

ンストリートが牡丹町通りで、ひ

と昔前までは深川八幡祭りの早朝に神輿が勢揃いし、ここから威勢よく出発していったところです。

牡丹町笑栄会商店街振興組合は現在73軒。「親の代からの看板をおろして、飲食店にするお店が多く

なりました。年に1回、模擬店を中心にサマーフェスティバル、年

2回フリーマーケットを開催しています」と堀富美男会長。

牡丹町の歴史をひもとくと『東海道四谷怪談』の作者として有名な

四世鶴屋南北が、晩年ここに住んでいました(現・黒船稲荷辺り)。

また、平久橋台地には寛政3



年の津波を記した「津波警告の碑」があります。同所には3月10日の空襲で亡くなった方の「戦災者供養碑」もたてられています。

牡丹町と古石場を境に流れている古石場川も親水公園に生まれ変わり、散歩や子供たちの遊び場と

して利用されています。この季節公園内の牡丹園には美しい牡丹の花が咲き揃います。

この親水公園に架かる橋のひとつに小津橋があります。世界の名監督小津安二郎の本家がこの橋を渡った古石場にあり、橋名がつけられました。現在ここに、秋オー

プンを目指し(仮称)古石場文化センター・古石場図書館を建設中です。

オープン時には、記念事業として「小津と江東」をテーマにした企画展、小津映画サイレント特集シンポジウムなどを開催します。

また、江東シネマプラザとして江東区にゆかりある名作邦画の上映会やシネマ文化をテーマにした講座の開催も予定しています。

MAP

清澄通り

井

黒船稲荷屋跡
四世鶴屋南北

牡丹町通り

牡丹町郵便局



津波警告の碑
戦災者供養碑

平久橋



30種
470株の
牡丹園



ちどり橋

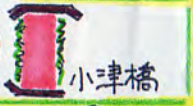


牡丹町公園

古石場川親水公園



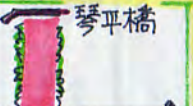
雀橋
関口橋



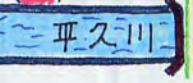
小津橋



建設中の
仮古石場文化センター



琴平橋



平久川